



ごみを減らして 資源循環型社会をつくろう！



10月は「3R推進月間」「食品ロス削減月間」です。ごみの発生を抑え、リサイクルなどに取り組むことで、焼却ごみが減り、焼却ごみ袋のサイズを小さくしたり、ごみ袋の購入を少なくしたりすることが期待できます。
問 資源循環推進課(馬場町、クリーンセンター1階) ☎562-6361、☎566-1694

1 リデュース Reduce ごみを減らす

できることからやってみよう

食品ロスとは、売れ残りや食べ残しなど、本来食べられるのに捨てられてしまう食品のことをいいます。日本では、年間522万トン以上の食品ロスが発生し、1人当たり毎日ご飯茶碗1杯分相当の食事を食べずに捨てている計算になります。
食材を買いすぎず、食べ残しをしないようにし、食品ロスを削減しましょう。

生ごみ処理容器やコンポストの活用

- 生ごみの乾燥やたい肥化により、生ごみを減量させることができます
- 市では生ごみ処理容器の購入補助や段ボールコンポストの販売を行っています



生ごみ処理容器



段ボールコンポスト

3キリ運動

食材は無駄なく購入して「使いキリ」、料理は残さず「食べキリ」、水気を切ってごみを出す「水キリ」の3キリ運動を推進しています

フードドライブ

家庭や職場で使いきれない未使用の食品を集め、必要とする人たちに寄付する活動に協力してください

2 リユース Reuse 繰り返し使う

フリーマーケットを活用し、不用品をもらったり、譲ったりして、繰り返し使う工夫をしましょう。
市では10月7日(土)にエコライフフェアを開催します。

3 リサイクル Recycle もう一度資源として利用する

プラスチック製容器類は汚れを取り、正しく分別しましょう。古紙類は焼却ごみに混ぜないで、資源として出しましょう。各地域で実施されている資源回収活動も活用してください。

エコライフフェア草津2023 ～みんなで進める、ごみ減量！～

段ボールコンポストの販売やフードドライブ、リユースマーケットなど、ごみの減量と資源の有効利用について、楽しく学べるイベントです。ぜひ来てください。詳しくは市ホームページをご覧ください。
📅 10月7日(土) 10:00～15:00 📍 キラリエ草津(大路二)



10月1日(日)から 焼却ごみ袋の取り扱いが変わります！

ごみの排出量に応じた負担の公平性に基づいて、ごみ袋の価格を見直し、指定ごみ袋の取り扱いを変更しました。これにより、ごみの排出抑制や再生利用を進め、脱炭素社会の実現につなげます。
問 資源循環推進課(馬場町、クリーンセンター1階) ☎562-6361、☎566-1694

10月から どうなりますか？



種類	サイズ	価格(税込)
焼却ごみ類袋	大(45L)	10枚 150円
	中(30L)	10枚 100円
	小(15L)	10枚 50円
プラスチック製容器類袋	60L	1世帯につき、2種類合計で年間40枚まで引換券と交換。超過した場合、10枚150円で購入。
ペットボトル類袋	60L	

無料配布を廃止

一定枚数を無料配布

- 引換券はこれまでどおり、来年度以降も、9月から町内会を通じて配布します
- 町内会の加入手続きが終わっていない人や町内会がない地域に住んでいる人は、市役所で配布します

ごみ袋はどこで 扱っていますか？

- スーパーマーケット
 - コンビニエンスストア
 - ドラッグストア
 - 市役所やまちづくりセンターなどの公共施設 など
- 詳しくは、ごみカレンダーの裏面か二次元コードでご確認ください。

ごみ袋等取扱店は
こちら

古紙類の収集回数が 増えます

利便性の向上や古紙類の資源化を推進するために、市が行う古紙類の収集日を統合し、月2回に収集回数が増えます。さらなるごみの減量化と再資源化に協力をお願いします。



ごみ袋は変わりますか？

新しい焼却ごみ袋はオレンジ色で、サイズが3種類になります。手元に残っている透明(半透明)の青色の指定袋は10月1日(日)以降も使えます。紙製のごみ袋は使用できません。



▲新しい焼却ごみ袋